

I コンクール概要

仙台国際音楽コンクールは、仙台市が2001年に創設し、3年毎に行うコンクールです。才能ある若い音楽家を輩出することにより、世界の音楽文化の振興及び国際的文化交流の推進に寄与することを目的としています。協奏曲を課題曲の中心に据えるという特色を持ち、公正で信頼性の高い運営とともに、市民の温かいホスピタリティに支えられたコンクールです。2005年より国際音楽コンクール世界連盟に加盟しています。







01. 名称

第5回仙台国際音楽コンクール(略称SIMC)

02. 主催

仙台国際音楽コンクール組織委員会/仙台市/公益財団法人仙台市市民文化事業団

03. 後援

総務省、外務省、文化庁、宮城県、日本演奏連盟、日本音楽著作権協会、日本ピアノ教育連盟、全日本ピアノ指導者協会、日本弦楽指導者協会、日本音楽財団、朝日新聞仙台総局、毎日新聞社、読売新聞東北総局、日本経済新聞社仙台支局、産経新聞社、 河北新報社、共同通信社、時事通信社、 仙台放送局、 TBC東北放送、 仙台放送、 ミヤギテレビ、ICB日本放送、 Date fm、音楽之友社

04. 開催部門

ヴァイオリン部門/ピアノ部門

05. 審査構成

コンクールは予選、セミファイナル及びファイナルの各審査段階で構成する。コンクールの出場者を決定するために、書類及びDVDによる予備審査を行う。

06. 開催期間

ヴァイオリン部門 2013年5月25日(土)～6月9日(日)
ピアノ部門 2013年6月16日(日)～6月30日(日)

07. 会場

仙台市青年文化センター(宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5)

08. コンクールの組織(抜粋)

組織委員会	会長 副会長	奥山恵美子 海老澤 敏 堤 剛 野島 稔 植田 克己 高橋 宏明 氏家 照彦 伊藤 義文 稲葉 信義 五十嵐悦朗	仙台市長 運営委員長/尚美学園大学大学院特別専任教授 桐朋学園大学学長/チェリスト 運営委員会委員/ピアニスト/東京音楽大学学長 運営委員会委員/ピアニスト/東京芸術大学音楽学部長 東北電力株式会社取締役会長 株式会社七十七銀行取締役頭取 株式会社日立製作所東北支社長 仙台市副市長 公益財団法人仙台市市民文化事業団理事長
運営委員会	委員長 副委員長 委員	海老澤 敏 片岡 良和 河内 健次 宗 倫匡 野島 稔 岡山 潔 植田 克己 前 和男 渋谷由美子 野沢 真弓 松本 伸二 上田 昌孝 斎藤 文伸	尚美学園大学大学院特別専任教授 作曲家 社団法人日本演奏連盟監事 ヴァイオリニスト/英国王立音楽院教授 ピアニスト/東京音楽大学学長 ヴァイオリニスト/東京芸術大学名誉教授 ピアニスト/東京芸術大学音楽学部長 音楽学 ヴァイオリニスト 宮城学院女子大学教授/ピアニスト 公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団常務理事・ 演奏事業部長 仙台市市民局長 公益財団法人仙台市市民文化事業団副理事長

09. 審査委員

ヴァイオリン部門			ピアノ部門		
委員長	宗 倫匡	日本	委員長	野島 稔	日本
副委員長	岡山 潔	日本	副委員長	植田 克己	日本
委員	フェリックス・アーヨ	スペイン/ イタリア	ベルント・ゲツケ		ドイツ
	ピエール・アモイヤル	フランス	ブルーノ・カニーノ		イタリア
	シュミュエル・アシケナージ	アメリカ	ダン・タイソン		ヴェトナム
	堀米 ゆず子	日本	ヨヘヴェド・カプリンスキー		アメリカ
	ヤンウク・キム	アメリカ	セシル・ウセー		フランス
	ジョーリヤン・リン	アメリカ	エヴァ・ポプウォッカ		ポーランド
	クリストフ・ポッペン	ドイツ	スタファン・シエーヤ		スウェーデン
スヴェトリン・ルセフ	ブルガリア/ フランス	申 秀貞(シン・スジョン)		韓国	
ミヒャエル・ヴァイマン	イスラエル	エリソ・ヴィルサララゼ		ロシア	

10. オーケストラ

ヴァイオリン部門予選:室内アンサンブル(指揮者なし)

セミファイナル・ファイナル:仙台フィルハーモニー管弦楽団
指揮:パスカル・ヴェロ(仙台フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者)

II 出場申込について

01. 出場資格

1985年1月1日以降に出生した者

02. 申込締切

2012年11月15日(木)当日消印有効
 オンライン申込の場合は**2012年11月15日(木)**
24:00(日本時間)までとする。

03. 申込方法

出場希望者は、(A)郵送申込、(B)オンライン申込のいずれか一方を選択し、申込締切までに以下①～④をコンクール事務局に送り、⑤を支払うこと。

	(A) 郵送申込	(B) オンライン申込
①出場申込	出場申込書(すべての項目に記入)を6頁送付先に郵送すること。出場申込書は以下のホームページからもダウンロードすることができる。 URL: http://www.simc.jp/	以下のホームページよりオンライン申込を行うこと。 URL: http://www.simc.jp/
②申込日から6ヶ月以内に撮影した写真、または高画質データ	写真2枚(7×10cm程度)の裏面に氏名を明記し、6頁送付先に郵送すること。高画質データ提出の場合は、CD-RまたはDVD-R等を送付すること。 ※上半身・正面から撮影したもの。 ※高画質データは700×1000ピクセル以上のもの。 ※著作権による制限がないもの。 ※写真は公式プログラム、ホームページ等広報に使用します。	オンライン申込の際に高画質データとしてアップロードするか、もしくはDVDと一緒に6頁送付先に郵送すること。(郵送の場合、左の「郵送申込」の手順に従うこと)
③年齢を証明できる書類(パスポートのコピー等)	6頁送付先に郵送すること。	オンライン申込の際に画像データとしてアップロードするか、もしくはDVDと一緒に6頁送付先に郵送すること。
④予備審査の課題曲を収録したDVD	6頁送付先に郵送すること。	DVDレーベル面に、オンライン申込完了後に発行される受付番号を明記し、6頁送付先に郵送すること。
出場希望者は全員郵送提出すること	※DVD提出については、課題曲ページ「01.予備審査」(ヴァイオリン部門 11頁、ピアノ部門 13頁)を参照のこと。	
⑤参加料	日本円で1万円を 2012年11月15日(木) までに入金となるよう、6頁口座に振り込むこと。 ※指定の期日までに参加料が支払われない場合には、申込を受理しない場合がある。 ※手数料はすべて本人の負担とする。 ※参加料はいかなる理由があっても返還しない。	オンライン申込の際、日本円で1万円をクレジットカード決済するか、もしくは 2012年11月15日(木) までに入金となるよう、6頁口座に振り込むこと。

5

書類、DVD等送付先

〒981-0904 宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5
 仙台国際音楽コンクール事務局 Tel: 022-727-1872

※全ての郵送物提出締切は、**2012年11月15日(木)**当日消印有効とする。

口座振込の場合の参加料振込先

振込口座／七十七銀行 仙台市役所支店 普通預金No. 5090814
 名義人／公益財団法人仙台市市民文化事業団

注意事項

- ・郵送の際は、郵便書留、宅配便等、配達証明が可能な手段で送付すること。
- ・提出書類に記入漏れなど著しい不備がある場合、申込を受け付けない場合がある。
- ・提出書類等の郵送中の紛失については、コンクール事務局はその責任を負わない。
- ・提出書類等は返却しない。

04. 予備審査

コンクールの出場者を決定するため、予備審査を行う。予備審査は出場希望者から提出された書類及びDVD(課題曲の詳細は、11頁・13頁を参照)によって行う。
 予備審査の結果通知は、2013年2月15日(金)までに出場希望者に発送する。
 なお、予備審査を通過した者にはコンクールの詳細資料を同封する。

6

Ⅲ コンクールへの出場について

01. 出場登録

予備審査を通過した者は、以下の期日に出場登録を行わなければならない。それぞれの期日に出場登録をしない者は、コンクール出場の資格を失う。登録会場はコンクール事務局が仙台市内に指定する。

ヴァイオリン部門 2013年5月23日(木)
ピアノ部門 2013年6月14日(金)

02. 出場者への旅費補助

日本国外に居住する出場者に対する仙台への往復旅費について、下記のとおりコンクール事務局が地域ごとに定める額を補助することとし、出場登録時に日本円で支給する。これ以外の旅費については全て本人が負担すること。

国と地域	補助する金額
アジア	5万円
アジア以外の地域	10万円

支給される金銭について、日本の法律により税が課せられる場合において源泉徴収をする必要があるときは、これを控除した上で交付する。(税率は原則として20%)

03. 出場者への滞在費補助

出場登録日から下記の期日まで、コンクール事務局が仙台市内に指定するホテルを使用する場合に限り、主催者が出場者の宿泊料金(シングル1名の基本室料+朝食代)を負担する。これ以外の滞在費は全て本人が負担すること。

予選出場者 予選終了日の翌々朝まで
セミファイナル出場者 セミファイナル終了日の翌々朝まで
ファイナル出場者 ファイナル終了日の翌々朝まで

04. 練習

コンクールの期間中、以下のとおり練習の機会を無償で提供する。

- 1) ピアノ部門は、出場登録日の翌日からピアノを備えた部屋を1日につき4時間。
- 2) ヴァイオリン部門の予選における事前の室内アンサンブルとの練習の機会を1回。時間は原則として50分以内とする。
- 3) 各部門とも、セミファイナル及びファイナルにおける事前のオーケストラとの練習の機会をそれぞれ1回。時間は原則として1時間以内(指揮者との打合せを含む)とする。

05. 演奏の順序

コンクール予選及びセミファイナルにおける演奏の順序は出場登録時に、ファイナルにおける演奏の順序はセミファイナル終了後にそれぞれ行われる抽選に基づいて決定する。

06. コンクールの演奏について

コンクールは一般に公開される。予選から入賞者記念ガラコンサートまでの演奏は、ライブもしくは録画・録音によるテレビ・ラジオでの放送、インターネットでの配信を行うことがある。また、CD、DVD等の媒体での発売を予定している。

07. 審査

審査は、別に定める審査規程に基づき各部門11名の審査委員で構成する審査委員会が行う。各出場者に対する評価は一般に公開される。審査委員は、出場者のうち過去2年以内に自己に師事したことのある者について、審査することができない。審査委員と出場者は、予選開始からファイナル終了まで、接触してはならない。ただし、出場者が通過できなかった審査段階以降については、この限りではない。審査委員会の決定については、いかなる異議ないし不服申し立ても許されない。

08. 賞

1) 賞金

第1位	賞金 300万円	金メダル	ディプロマ
第2位	賞金 200万円	銀メダル	ディプロマ
第3位	賞金 100万円	銅メダル	ディプロマ
第4位	賞金 80万円		ディプロマ
第5位	賞金 70万円		ディプロマ
第6位	賞金 60万円		ディプロマ

審査委員会は、空位又は複数の入賞者を同位に決定することができる。複数の入賞者が同位にある場合には、当該順位とその次順位の賞金の合計額を等分して授与する。

2) 各部門の第1位入賞者への副賞

- ① 2016年12月末日までに、日本国内における仙台フィルハーモニー管弦楽団又は日本の代表的なオーケストラとの通算3回以上(入賞者記念ガラコンサートを含む)の共演の機会を提供する。
- ② 2016年12月末日までに、仙台市等におけるリサイタル出演の機会を提供する。
- ③ CDを制作する。

・以上の演奏会における出演料は、1公演につき日本円で10万円とし、当該演奏会に係る旅費及び宿泊費は、主催者が負担する。ヴァイオリンリサイタルにおけるピアノ共演者の出演料、旅費及び宿泊費についても、原則として同様とする。

・各部門の第1位入賞者が、上記の演奏会に出演する以前に日本において演奏会に出演する場合には、必ずコンクール事務局に届け出ること。

- 3) セミファイナルに出場し、かつセミファイナルを通過できなかった者のうち、20歳未満で特に優秀な出場者に対し、審査委員特別賞として奨学金50万円を授与することがある。
- 4) 聴衆賞その他の賞を定めることがある。
- 5) コンクールの趣旨に賛同する団体又は個人から提供された副賞等を各部門の入賞者に授与することがある。

※授与される金銭について、日本の法律により税が課せられる場合において源泉徴収をする必要があるときは、これを控除して交付する。(税率は原則として20%)

09. 入賞者記念ガラコンサート

主催者は、各部門のファイナル最終日の翌日に第1位から第3位までの入賞者が出演する入賞者記念ガラコンサートを仙台で実施する。各部門の第1位から第3位までの入賞者は、本コンサートの出演に同意しなければならない。

また、本コンサートで演奏する曲目は、コンクールのファイナルまたはセミファイナルにおいて出場者が演奏した曲目から運営委員長が指定する。また、演奏部分を指定することがある。

・本コンサートにおける入賞者に対する出演料は、1回あたり日本円で10万円とし、主催者が負担する。
・授与される金銭について、日本の法律により税が課せられる場合において源泉徴収をする必要があるときは、これを控除して交付する。(税率は原則として20%)

IV その他

01. 査証取得

コンクール出場のために入国査証が必要な場合は、出場者本人の責任で入国査証を取得すること。
なお、査証取得のため招へい状等を必要とする場合は、コンクール事務局に申請すること。

02. 保険

コンクール出場時の出場者自身の健康、傷害に関する保険及び楽器、手荷物、その他の所持物品に関する事故、火災、盗難、破損に関する保険は、必要と思われる場合は、本人自身が加入すること。

03. 著作権隣接権等

出場者は、本コンクールで行われるすべての演奏およびコンクール終了後に行う関連演奏会での演奏および主催者が制作する録音・録画物に含まれる演奏に関し、日本国著作権法に基づき享有する実演家の諸権利、並びにコンクール及びコンクール終了後に行う関連演奏会の公式記録に関する肖像権について、主催者である公益財団法人仙台市市民文化事業団に無償譲渡するものとする。

04. プライバシーポリシー

申込時に記載される個人情報は、日本の法律に基づき事務局が管理し、当コンクールの運営のためにのみ使用する。

05. 日本の法律への準拠

この実施要項は、仙台国際音楽コンクール規約に基づいて作成されたものであり、これに関して発生する問題は、日本語のコンクール規約に基づき、かつ日本の法律に準拠して解決される。

06. コンクール期間中の演奏活動

コンクール出場者は、コンクールにかかるもののほか、コンクール期間中いかなる演奏活動も行なってはならない。ただし、通過できなかった審査段階以降については、この限りではない。

ヴァイオリン部門課題曲

01. 予備審査

次の①～③の全てをDVD(DVD-Video形式※)に収録する。DVDのレーベル面及びケースの両方に、氏名、曲名、収録日及び収録場所を明記すること。(オンライン申込を行った者はこれに加え、オンライン申込後発行される受付番号もDVDレーベル面に明記すること。)

①J.S.バッハ: 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 第1番 ト短調 BWV1001から II. フーガ

②次の曲目から1曲を選択すること。

パガニーニ: カプリース op.1から

第4番 ハ短調 マエストーソ

第11番 ハ長調 アンダンテ-プレスト-テンポ・プリモ

第24番 イ短調 テーマ クアジ プレスト-変奏-フィナーレ

③次の曲目から1曲を選択すること。

イザイ	サン=サーンスのワルツ形式の練習曲(op.52-6)によるカプリース
サン=サーンス	序奏とロンド・カプリッチオーソ op.28
	ハバネラ op.83

- ・2011年11月1日以降に収録したものとする。
- ・課題曲3曲を、同一会場かつ同じ日に収録すること。
- ・未編集で、カメラアングルは固定とし、顔と手元が明確に映っているものとする。
- ・審査は匿名で行われるため、演奏者の氏名がDVDの映像及び音声の中に記録されてはならない。

※DVD-Video形式とは、DVDフォーラムで制定された規格で、一般的なDVDプレーヤーで再生可能な記録媒体のこと。

02. 予選

次の①②の両方を演奏する。

①J.S.バッハ: 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第1番 口短調 BWV1002から
III. サラバンド、ドゥーブル IV. プレー、ドゥーブル

② 次の曲目から1曲を選択し、その全楽章を演奏する。

モーツァルト	ヴァイオリン協奏曲 変口長調 K207(ペーレンライター版)
	ヴァイオリン協奏曲 二長調 K211(ペーレンライター版)

- ・指揮者なしでの演奏とする。
- ・カデンツァの指定については、予備審査通過者に連絡する。

03. セミファイナル

次の①②の両方を演奏する。

①ベートーヴェン: ロマンズ ト長調 op.40

②次の曲目から1曲を選択し、その全楽章を演奏する。

バルトーク	ヴァイオリン協奏曲 第1番 Sz36
ストラヴィンスキー	ヴァイオリン協奏曲 二調
シマノフスキ	ヴァイオリン協奏曲 第1番 op.35
ベルク	ヴァイオリン協奏曲

04. ファイナル

次の曲目を演奏する。

ブラームス: ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77

- ・カデンツァはヨアヒムのもを使用すること。

〈演奏についての注意〉

- ・演奏は暗譜で行う。
- ・演奏はすべて公開される。
- ・演奏審査において、時間の都合により、楽曲の一部を省略させることがある。

〈曲目変更についての注意〉

予選とセミファイナルの曲目を変更する場合は、文書(Fax、E-mail可)でコンクール事務局に届け出る。ただし、2013年3月15日(金)必着とする。

ピアノ部門課題曲

01. 予備審査

次の①～④の全てをDVD (DVD-Video形式※) に収録する。全体の長さが50分を超えないこと。DVDのレーベル面及びケースの両方に、氏名、曲名、収録日及び収録場所を明記すること。(オンライン申込を行った者はこれに加え、オンライン申込後発行される受付番号もDVDレーベル面に明記すること。)

①J.S.バッハ：平均律クラヴィーア曲集 第1巻、または 第2巻 から1曲(前奏曲とフーガ)
②ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのピアノソナタから1曲(全楽章)
③ショパン：練習曲集 op.10 または op.25 から1曲
④出場希望者の自由選択による任意の独奏曲

- ・各曲の長さについては特に指定しない。
- ・独奏曲には、協奏曲は含まれない。
- ・2011年11月1日以降に収録したものとす。
- ・未編集で、カメラアングルは固定とし、顔と手元が明確に映っているものとする。
- ・審査は匿名で行われるため、演奏者の氏名がDVDの映像及び音声の中に記録されてはならない。

※DVD-Video形式とは、DVDフォーラムで制定された規格で、一般的なDVDプレーヤーで再生可能な記録媒体のこと。

02. 予選

任意の独奏曲で、30分以上かつ35分を超えない演奏時間のリサイタルプログラムを構成し、演奏する。ただし、下記の作曲家の作品から1曲以上、かつ、10分以上の演奏を含めなければならない。

J.S.バッハ、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパン、シューマン、ブラームス
--

- ・曲数、各曲の長さについては特に指定しない。
- ・特殊奏法(内部奏法、プリベアドピアノ、トーンクラスターなど)を含む作品は選択の対象外とする。

03. セミファイナル

次の曲目から1曲を選択し、その全楽章を演奏する。

モーツァルト	ピアノ協奏曲 二短調 K466(ベレンライター版)
	ピアノ協奏曲 八長調 K467(ベレンライター版)
	ピアノ協奏曲 変ホ長調 K482(ベレンライター版)
	ピアノ協奏曲 八短調 K491(ベレンライター版)
	ピアノ協奏曲 八長調 K503(ベレンライター版)
	ピアノ協奏曲 変ロ長調 K595(ベレンライター版)
ベートーヴェン	ピアノ協奏曲 第1番 八長調 op.15
	ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 op.19

13

04. ファイナル

次の曲目から2曲を選択すること。その中からセミファイナル終了後に運営委員長が指定した1曲について、その全楽章を演奏する。

ベートーヴェン	ピアノ協奏曲 第3番 八短調 op.37
	ピアノ協奏曲 第4番 卜長調 op.58
	ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」
ショパン	ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 op.11
	ピアノ協奏曲 第2番 へ短調 op.21
メンデルスゾーン	ピアノ協奏曲 第1番 卜短調 op.25
リスト	ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調 S124
	ピアノ協奏曲 第2番 イ長調 S125
シューマン	ピアノ協奏曲 イ短調 op.54
ブラームス	ピアノ協奏曲 第1番 二短調 op.15
	ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 op.83
グリーグ	ピアノ協奏曲 イ短調 op.16
サン＝サーンス	ピアノ協奏曲 第2番 卜短調 op.22
	ピアノ協奏曲 第5番 へ長調 op.103「エジプト風」
チャイコフスキー	ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23
ラフマニノフ	ピアノ協奏曲 第2番 八短調 op.18
	ピアノ協奏曲 第3番 二短調 op.30
	バガニエーニの主題による狂詩曲 op.43
ラヴェル	ピアノ協奏曲 卜調
バルトーク	ピアノ協奏曲 第3番 Sz119
プロコフィエフ	ピアノ協奏曲 第2番 卜短調 op.16
	ピアノ協奏曲 第3番 八長調 op.26

〈演奏についての注意〉

- ・演奏は暗譜で行う。
- ・演奏はすべて公開される。
- ・演奏審査において、時間の都合により、楽曲の一部を省略させることがある。

〈曲目変更についての注意〉

予選からファイナルまでの曲目を変更する場合は、文書(Fax、E-mail可)でコンクール事務局に届け出ること。ただし、2013年3月15日(金)必着とする。

14

第5回仙台国際音楽コンクール 全体スケジュール

2012年	1月	出場申込開始
	11月15日	出場申込締切(当日消印有効) 参加料納入期限
2013年		予備審査
	~2月15日	予備審査結果発送
	3月15日	課題曲変更期限
		ヴァイオリン部門
	5月23日	出場登録
	5月25日~27日	予選(出場人数:概ね36名)
	6月1日~3日	セミファイナル(出場人数:12名以内)
	6月7日~8日	ファイナル(出場人数:6名以内)
	6月9日	入賞者記念ガラコンサート
		ピアノ部門
6月14日	出場登録	
6月16日~18日	予選(出場人数:概ね36名)	
6月22日~24日	セミファイナル(出場人数:12名以内)	
6月28日~29日	ファイナル(出場人数:6名以内)	
6月30日	入賞者記念ガラコンサート	